

病原原虫学分野

A 欧文

A-a

1. Isozumi R, Uemura H, Dao LD, Hanh TV, GiangND, Cien HV, Phuc BQ, Tuan NV, Nakazawa S. Longitudinal Survey of *Plasmodium falciparum* Infection in Vietnam: Characteristics of Antimalarial Resistance and Their Associated Factors. J Clin Microbiol 48(1): 70-77, 2010 (IF:4.162)
2. Pandey K, Pandey BD, Mallik AK, Kaneko O, Uemura H, Kanbara H, Yanagi T, Hirayama K. Diagnosis of visceral leishmaniasis by polymerase chain reaction of DNA extracted from Giemsa's solution-stained slides. Parasitol Res 2010 Aug; 107(3): 727-30, 2010 (IF:1.721)

A-b

1. Culleton R, Kaneko O. Erythrocyte binding ligands in malaria parasites: Intracellular trafficking and parasite virulence. Acta Trop 114(3):131-7, 2010 (IF:2.221)

学会発表数

A - a	A - b		B - a	B - b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
2	1	8	0	1	10

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
金子 修・教授	評議員	日本寄生虫学会
金子 修・教授	評議員、監事	日本熱帯医学会
金子 修・教授	学術調査官（非常勤）	文部科学省研究振興局
上村春樹・講師	評議員	日本寄生虫学会
上村春樹・講師	評議員	日本熱帯医学会

競争的資金獲得状況(共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
金子 修・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(B) 「三日熱マラリア原虫感染赤血球表面分子 PvSTP の集団遺伝学解析」
金子 修・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(B) 「マラリア原虫赤血球侵入関連分子の機能ドメインの同定と侵入の制御」
金子 修・教授	日本学術振興会	代表	ドイツとの二国間交流事業共同研究(DFG) 「マラリア原虫の細胞内小器官ロプトリーへの輸送シグナルの同定」
金子 修・教授	日本学術振興会	代表	学術動向等に関する調査研究の委託 「基礎医学分野に関する学術動向の調査研究」
金子 修・教授	公益信託 五峯ライフサイエンス国際基金	代表	研究助成金 「モルフォリノアンチセンスオリゴによるマラリア原虫の転写制御」
金子 修・教授	公益財団法人 第一三共生命科学研究振興財団	代表	研究助成 「マラリア原虫感染赤血球内タンパク質輸

			送機構の分子基盤」
金子 修・教授	厚生労働省	分担	科学研究費補助金 「寄生虫疾患の病態解明及びその予防・治療をめざした研究」
金子 修・教授	文部科学省	分担	最先端研究基盤事業 「新興・再興感染症の克服に向けた研究環境整備」
金子 修・教授	日本学術振興会	分担	グローバル COE プログラム 「熱帯病・新興感染症の地球規模統合制御戦略」
金子 修・教授	日本学術振興会	分担	研究者海外派遣基金助成金(組織的な若手研究者等海外派遣プログラム) 「海外派遣による自立した若手生命医療科学研究者育成支援プロジェクト」
金子 修・教授	Bill and Melinda Gates Foundation	分担	「Long-term Continuous Culture of Plasmodium Vivax Blood Stages」
金子 修・教授	長崎大学熱帯医学研究所	分担	共同研究 「バベシア原虫赤血球侵入と発育のタイムラプス解析」
金子 修・教授	長崎大学熱帯医学研究所	分担	共同研究 「マラリア原虫赤血球リガンドの細胞侵入時タイムラプス解析」
上村春樹・講師	日本学術振興会	代表	基盤研究(B) 「熱帯熱マラリア原虫の薬剤耐性関連遺伝子の多型：地域による特徴」
上村春樹・講師	長崎大学熱帯医学研究所	分担	共同研究 「キネトプラスト科原虫の細胞分裂抑制に重要な kinase の同定および inhibitor の screening」
中澤秀介・助教	長崎大学熱帯医学研究所	分担	共同研究 「ベトナム中部地域における“森林マラリア”の分子疫学的研究」
中澤秀介・助教	長崎大学熱帯医学研究所	分担	共同研究 「旧世界ザルや野生チンパンジーのマラリア感染個体の行動変化と感染マラリア原虫の系統解析に関する研究」
中澤秀介・助教	長崎大学熱帯医学研究所	分担	共同研究 「ベトナム先住民族社会における生計変化とそれに伴う森林マラリア罹患が貧困に及ぼす影響に関する研究」
矢幡一英・助教	日本学術振興会	代表	若手研究(B) 「遺伝子間隙壁に着目したマラリア原虫の遺伝子発現メカニズムの解明」
カレトン リチャード レイトン・助教	科学技術振興機構	業務担当	科学技術振興調整費・若手研究者の自立的な研究環境整備 「地方総合大学における若手人材育成戦略(熱帯病・新興感染症の地球規模制御戦略拠点)」
カレトン リ	The Great Britain Sasakawa Foundation	代表	Butterfield Award for UK-Japan Collaboration

チャード レ イトン・助教			「 Identification of antigens involved in protective immunity in the early stages of malaria parasites 」
カレトン リ チャード レ イトン・助教	日本学術振興会	分担	基盤研究(B) 「メラネシア島嶼乳児におけるマラリア初感染の研究」
カレトン リ チャード レ イトン・助教	The Royal Society, UK	分担	Royal Society (UK) International Joint Projects 「 Investigating the genetic determinants of strain specific immunity to the pre-erythrocytic stages of malaria parasites 」